

S+i

SAKURA innovation



櫻丘広報

SAKURAGAOKA-NEWSLETTER



CONTENTS

入学式	1
新入生校外教育	2
新任の挨拶	2
櫻高祭	3
修学旅行	5
英国語学研修	9
高大連携教育	11
サイエンスリテラシー・キャリア教育	12
部活動報告	13
櫻丘ニュース	14
行事予定	15

No. 214
2023.11

日本大学櫻丘高等学校



Entrance Ceremony

日程: 4月6日(木) 場所: 百周年記念館



入学式



令和5年4月6日(木)、日本大学櫻丘高等学校入学式が挙行されました。今年度は入場者数の制限はせず、多くのご家族の方の祝福のなか、新入生を迎えることができました。入学式では、大木学校長や岡文理学部長からお祝いの言葉が贈られ、生徒会長からも歓迎の言葉が述べられました。また、新入生代表挨拶では堂々とした姿勢でこれからの学校生活への意気込みが語られ、新入生の頼もしい姿を見ることができました。今年度は新たに484名の新入生を迎えます。皆希望に満ち溢れた様子で、これからの本校でのスクールライフに胸を躍らせているようでした。



Guidance

日程: 4月10日(月)から12日(水)



新入生校外教育



4月10日(月)～12日(水)、富士緑の休暇村にて、2泊3日の1年生対象校外教育が行われました。新入生はこの3日間を通じて、本校での生活を送るうえで大切にしたいことや、櫻イノベーションをはじめとする本校独自の教育の取り組みに関する話など、様々なことを学びました。また、クラスごとのミーティングでは、クラス内の役割決めや自己紹介などが行われました。この3日間でクラスの仲は一気に深まりました。新入生は高校生としての自覚が芽生え、これからの学校生活が一層楽しみになった様子でした。

Teachers

人事

新しい先生のご挨拶



澤田 彰 教頭

今年度より、日本大学櫻丘高等学校 教頭を務めさせていただきます澤田彰と申します。科目は英語を担当しております。

昨年と比較し、様々な制限が緩和され、徐々に日常が戻り始めた今年度は、日頃の学習・部活動・行事などを通じて、より活気に溢れた生徒の皆さんの様子を見ることができ、大きな喜びを感じています。

本校の教育の中心である櫻イノベーションの1つに、「グローバルマインドの形成」があります。今年度から英語学研修や留学制度も再開され、積極的な皆さんの参加の様子から、年々グローバルな分野への興味関心が高まっているように感じています。今後皆さんが学校内外に関わらず知識を広げ、グローバルに活躍していくことを楽しみにしています。

様々な価値観や多様な文化に触れ、自身の見聞を広げ、高校生活をより充実させるきっかけを多く作っていただけるように最大限のサポートを行っていききたいと思います。よろしくお願いします。



School Festival

日程: 6月17日(土)・18日(日)

場所: 日本大学櫻丘高等学校校舎・日本大学文理学部百周年記念館



櫻高祭!

パフォーマンス、展示、企画



パフォーマンス、展示、企画のどれをとっても熱気に満ちあふれていて、生徒の生き生きとした姿が印象的でした。

今年度は、4年ぶりに制限なしの櫻高祭を開催することができました。2日間とも大盛況で、来場者数なんとコロナ禍前の1.5倍の6,000人超え。両日共に晴天に恵まれ、校内には生徒や来場者の方の笑顔があふれていました。久しぶりの本格開催だったので、生徒たちにとって大変やりがいのあるイベントになったようです。



部活動公演



百周年記念館では部活動の公演で盛り上がりました。この日のために部員は準備し、練習を重ねてきました。この櫻高祭で引退となる3年生も記憶に残る発表ができたと思います。



中夜祭



最後の文化祭となる3年生によって行われた中夜祭。どのクラスの演技も、生徒たちの一体感が伝わる素敵なものでした。

櫻高祭に向けて準備を進めるなかで、生徒は協調性や主体性、責任感や達成感などの大切さを実感し、大きく成長することができました。最後に、文化祭実行委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。皆さんの貢献なしには絶対にこの櫻高祭は成功しませんでした。来年度、さらにパワーアップした櫻高祭にぜひご期待ください。



School Trip

日程: 10月15日(日)から19日(木) 場所: 沖縄



第2学年 修学旅行 (Gクラス)



戦争の悲惨さや平和のありがたさを改めて感じる機会になりました。

10月15日(日)～19日(木)の日程で、第2学年Gクラスの生徒が沖縄へ修学旅行に行ってきました。クラス別研修での沖縄ならではの体験や班ごとに計画したタクシー研修、また、沖縄の伝統行事であるハーリー競争など、様々な経験をとおり、生徒たちは友人との仲を深め、たくさんの思い出を作ることができたようです。また、地上戦を経験した地を訪れ、資料館や平和の礎を目の当たりにすることで、戦争の悲惨さを肌で感じ、平和のありがたみを改めて実感する機会にもなり、修学旅行とよぶにふさわしい時間を過ごすことができました。現地では、全日程にわたって晴天に恵まれ、沖縄らしい気候のもとで生徒たちの溢れる笑顔を見られたことを、教員一同嬉しく思います。



様々な研修地で沖縄の文化や自然を感じることができました。



自分たちで計画した地をまわり、友だちとの仲も深まりました。





School Trip

日程: 10月15日(日)から21日(土) 場所: オーストラリア



第2学年 修学旅行 (Sクラス)



ホストファミリーの家に宿泊し、楽しみながら異文化交流ができました。



大学生とのディスカッションでは、楽しみながら自分の意見を英語で伝えていました。



本場のオージービーフに舌鼓



実際に動物のお世話も体験しました。

10月15日(日)～21日(土)の日程で、第2学年Sクラスの生徒がオーストラリアのシドニーへ修学旅行に行ってきました。ファームステイでは、現地のホストファミリーと交流することで、オーストラリアの生活を体験しました。異なる習慣で戸惑う生徒もいましたが、優しいファミリーのおかげですぐに打ち解け、素敵な時間を過ごしたようです。また、St.Vincent CollegeやMacquarie Universityなど、現地の学生と接する機会も多く、スポーツやレクリエーション、現地案内などを通して親交を深め、英語で自分の考えを伝えることを楽しんでいる様子も見られました。オーストラリアでの修学旅行では、文化や人種の違い、学ぶことや将来の夢について改めて考える良い機会になったようです。



シドニー湾ディナークルーズでは、おいしい食事とともに、シドニー最後の夜を楽しんでいました。



現地高校生との交流では、レクリエーションを通じてすぐに打ち解けていました。



「命どう宝」

(Gクラス) 8組 金子 真優

私が今回の沖縄への修学旅行で最も印象に残ったことは、沖縄県平和祈念資料館とひめゆり平和祈念資料館を見学したことだ。歴史の授業で話を聞いたり映像を見たことはあったが、実際に見て感じたのは、感じたことのない衝撃であった。

学校に行きたくない、部活動に行きたくないと思うことがある。家族や友達を疎ましく思うこともある。しかし、それらはどんなに贅沢な悩みだろうか。学校に行きたくて勉強したいと思っても、毎日使うのは教科書ではなく兵士として戦うための武器や兵士の救護のための医薬品だった。制服の代わりに着るのは軍服やもんぺだった。家族や友達に会いたくても、会えず孤独に自らの死の恐怖と戦うしかなかった。

今の自分たちの命や生活があるのは、過去の多くの戦争を乗り越え、平和な世の中を築かなければならないと伝え続けてくれたたくさんの人々の命のバトンがあったからだ。戦時中の自らの辛い経験を思い出し、戦争を経験していない私たちの世代に命の大切さと、戦争の惨禍を繰り返してはいけないという教訓を伝え続けてくれる世代の思いを受けとめ、感じ、後世に伝え続けていくことが私たちの役目だ。戦争の風化によって、戦争を知らない世代によって、新たな戦争が起きないように。

「命(ぬち)どう宝」。一度失ったら二度と手に入れることのできない、何にも代えることのできない最も大切な人の命。この先の未来、戦争によって一つの大切な命も奪われないことを願う。

「綺麗な海」

(Gクラス) 10組 松村 厚之介

「海が綺麗ななあ」の一言でこの修学旅行を表せるくらい、沖縄の海は素晴らしいものだった。昼間は太陽に照らされキラキラと輝く。夕方は夕日に照らされ落ち着いた雰囲気景色を彩る。そして、広大な海に陽が昇り、気持ちのよい朝を迎える。見る時間によって姿を変える海は、海中が見えるほど澄んでいた。水色の海など見たことがない。バスの車窓から見えたり、ホテルのベランダから眺めたり、丘の上から見下ろしたりと、いつまでも沖縄の海に感動していた。

そんな海の景色は、今も昔も大きくは変わらないだろう。しかし、昔は今のようにその景色を眺めることは少なかったと思う。戦時中の沖縄では日本で唯一地上戦が繰り返された。戦争

には自分と同じくらいの年齢の子どもたちも参加していたそう。沖縄県平和祈年資料館に、ぼろぼろの服を着た小さな子どもが外で立っている写真があった。ひめゆり平和祈年資料館で流れていた映像では、逃げた先の場所にもアメリカ兵が待ち受けていたという話を聞いた。いつ捕らえられるか、もしくはいつ殺されるかも分からない、絶望しかない状況が浮かんだ。そんな中で、「海が綺麗ななあ」と感じることができるだろうか。そう考えた時、胸が苦しくなった。

おいしいご飯を食べたり、お土産を買ったり、クラスで盛り上がった時、時には少しふざけて反省するべきところもあったが、楽しく思い出に残る修学旅行になった。そんな当たり前のように当たり前ではない幸せな環境に、感謝したいと思った。

「見つけたもの」

(Sクラス) 12組 榮 凜太郎

私は、この修学旅行中に一番多く使った英語表現は何だろう、と考えました。「Yes」か「Sorry」だったかと。そして、一つの明確な答えにたどり着きました。

シドニーの街は日本とは何もかも違っていました。高層ビルと歴史的建造物のコントラストが美しい街並み、日本よりはるかにボリュームでジャンキーな食べ物の数々。気候も日本とはかなり異なり、滞在中に何度か虹を見ることができました。オーストラリアは基本的に乾燥しているので、雨はありがたい存在だと言います。

そんな異なった日本とオーストラリアで、私は一つの共通点を見出しました。それは、人々の温かさです。

日本を旅立つ前、私は少し不安でした。現地の学生に自分の英語力をバカにされはしないか、現地の方とトラブルがあるかもしれない…。しかし、今思うとそんな偏見はむしろ失礼だっ

たと思います。

オーストラリアの人々は、とても親切でした。ホストファミリーの皆さんは、私たちを家族として迎え入れてくれて、映画を見せてくれたり、ケーキを作ってくれたりしました。あの笑顔を見出すと、今でも恋しくなります。また現地の学生たちはとてもフレンドリーで、同じ趣味で盛り上がった時、ゲームをして楽しんだりしました。街の人も、私たちが写真撮影に難航していた際に、声をかけてくれて写真を撮ってくださいました。

遠く離れた異国の地に、私は日本と同等かそれ以上の優しさを見つけました。たくさんの観光名所やフォトスポットを巡る中で、何よりも美しいと感じたのがオーストラリアの人々の人間性でした。彼らなしでは、これほどまでに楽しかったわけがありません。

本当にたくさんの「ありがとう」を伝えました。この一週間で、一番多く使った英語表現は間違いなく「Thank you」です。



Local Study Programs

日程:7月17日(月)から8月1日(火) 場所:イギリス



英国語学研修



令和5年7月17日(月)～8月1日(火)までの2週間、イギリス・コッツウォルズ地方にて英国語学研修を実施しました。コロナ禍明け初の語学研修ということもあり、高校1～3年生の計63名と多くの生徒が参加しました。語学の授業や英語圏での生活を通じて「英語4技能」を磨くこと、コミュニケーションスキルの向上などを目的に掲げ、バス・トリップも多く取り入れたため、イギリスの文化にも多く触れられるプログラムとなりました。帰国後もSNSなどを通じて現地の学生と交流を続ける生徒も多く、英語を“学ぶ”段階から“使う”段階に成長できたようです。また、知らない土地で多様な価値観に触れることで、本物の“生きる力”を身につけることができました。今回の経験を自分なりに昇華して、それぞれの将来に活かしてもらいたいと思います。



Local Study Programs 感想

「言葉よりも大切なもの」

1年7組 金丸 郁志

僕は2週間の英国語学研修でたくさんの学びや気づきを得ました。その中でも特に強く印象に残った「人と人との繋がり」について話そうと思います。

僕は英国に強い思い入れがある訳でも、英語が得意な訳でもないのですが、日本を出て異国に行くという大きな魅力に惹かれて語学研修に参加しました。しかし、初日・2日目と、ホストファミリーに自分から話しかけることができず、何か質問されても何を聞かれているのか分からず沈黙が続いてしまったり、会話が全く進まなかったりしました。しかし、これではいけないと思い、質問が来たらせめてイエスかノーで答えたり、挨拶と感謝の言葉をしっかりと言ったりと、少しずつ話す量を増やしていきました。そして、完璧な英語でなくてもいいから自分の知っている単語と単語を繋げて、伝わらなくても諦めずに違う言葉

を使うなどして、だんだんとコミュニケーションがとれるようになっていきました。

最終日前日の夜に、ファミリーの子どもたちから手紙をもらいました。筆記体ではなく、分かりやすい単語だけで、僕らに伝わりやすいように書いてありました。僕はその手紙が嬉しかったので、その夜に自分の英語の知識と少しの文明の力を借りてファミリー一人ひとりに宛てた手紙を書きました。翌朝ひとりずつその手紙を渡すと、その手紙を読んだ子どもが泣いてくれました。おそらく、その手紙も文法はところどころ違っていたと思いますが、僕たちの気持ちが伝わったのだと、僕は思っています。

人と人との繋がりにおいて、言葉は確かにとても重要です。しかし、それ以上に大切なのは自分の気持ちだということを感じられました。これからは、言葉よりも大きな気持ちを持って人と接していこうと思います。

「多様性」

3年4組 下山 裕莉香

最近、「多様性」について多くの論争が繰り広げられており、政府や企業、公共の場においてもジェンダーレスや外国人雇用といった点で多くの変化が見られます。

語学研修の間、私たちは多くの現地の人々と交流することができました。日本にいと日本人が沢山いますが、イギリスにいと、おそらく国籍はイギリスでも、様々な人種の方がいたように思えます。そうした中で私はイギリス人の見た目にとらわれない寛容さや個性の豊かさに感動しました。

また、英国人学生に普段どのようなことを学校で学んでいるのか聞いたところ、日本と同じように数学や体育や化学などを学んでいるが、ドラマの授業も行っていました。実際にドラマの授業を体験してみると、自分で自分の感情を表現する難しさを知ることができました。初めはクラスメイトの前で発言をする

ことすら恥ずかしいと感じていましたが、授業を通して、みんなと意見を交換したり、劇をしたりすることをとても楽しいと感じました。

イギリスで、日本とは違った文化に触れる度に私は驚きや好奇心を感じ、それと同時に今までの自分の視野の狭さを痛感しました。ただ、私がそう感じた時でさえ、世界中の数ある国のうちの、日本とイギリスのたった二ヶ国だけの繋がりです。世界には私の想像をはるかに超える多様な文化があります。これらに触れることは必ず良い経験となるし、とても楽しいことだと思います。そのために私は、英語を学び、多くの人と話せるようになりたいと思いました。

そして、このような楽しい経験をさせてくださった現地のスタッフさんや、先生方、ホストファミリーや友人など携わってくださった人全員に感謝したいです。



1年学部訪問(薬学部)

Cooperation

高大連携教育



他大説明会

日本大学は16学部86学科という多くの学問分野を持った総合大学です。本校ではそうした日本大学のスケールメリットをフル活用して、生徒たちのキャリア観を育てる取り組みを積極的に行っています。高大連携教育を通じて、普段はなかなか知ることのできない大学のキャンパスの雰囲気や高校との授業の違いを肌で感じることで、進路観を養うことにつながります。生徒たちにとって、自身の将来を考える良い機会になりました。

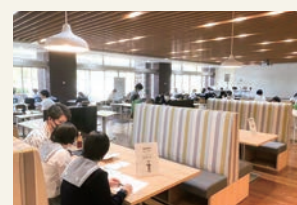
学部訪問 1 学年



1年学部訪問(生物資源科学部)

7月10日(月)、1年生の生徒たちは11の学部の中から自身が希望する学部を選び、本校教員引率のもと、各学部へそれぞれ向かいました。訪問先ではキャンパス内の見学ツアーだけでなく、学部の特色に関する説明や簡単な講義も実施していただきました。高校とは雰囲気異なり、大きな刺激を受けたようです。

放課後チューター制度



この制度は、定期考査前を中心に、日本大学文理学部に所属する教員志望の現役学生が、放課後の学習効果を高めることを目的とした本校生徒への学習サポートをするものです。日々、高度な学習や研究に向かっている大学生・大学院生のサポートを受け、生徒たちの理解は非常に深まったようです。

出張講義 1・2 学年

7月10日(月)に2年生、10月18日(水)には1年生を対象に、「出張講義」を実施しました。出張講義では、主に日本大学の様々な学科の先生をお招きし、自身の興味のある学問を専門とする先生の講義を受講することができます。大学の講義同様、実験やグループワークなども織り交ぜながら展開され、生徒たちは主体的な姿勢で受講することができたようです。



進学相談会



7月18日(火)、19日(水)に三者面談と並行して生徒ホールにて進学相談会が行われました。日本大学の各学部の担当者の方をお招きし、面談後に保護者と生徒で大学の進学について相談をすることができる会となっています。毎年この時期に行っていますが、今回も多くのご家庭に参加をいただきました。

Scientific Literacy

サイエンスリテラシー・キャリア教育



進路だより

サイエンスリテラシー講座

昨年度より行ってきたサイエンスリテラシー講座を、今年度は更に拡大し、3年生の理系クラスの全生徒で実施することとなりました。年間を通じて実施するものですが、4月にはサイエンスリテラシー講座を行う理由、身につけてほしい力の説明と班分けを行い、テーマ設定を行いました。現在は、調べ学習や実験、隣の日本大学文理学部の協力を得ながら研究を行い、ポスター発表に向けての準備を進めています。



昨年度のサイエンスリテラシーのポスターセッションの様子

進路説明会

文理学部百周年記念館にて3年生を対象とした進路説明会を行いました。前半では今後の日本大学への推薦制度・一般受験についての説明や受験を乗り越えるためのアドバイスを、後半では本校卒業生をお招きして日本大学進学向け、一般受験向けのパネルディスカッションが行われました。受験を乗り切った先輩たちの話にはとても説得力があり生徒は真剣な眼差しで話を聞き、その後は質問も多く出ていました。3年生にとって進路の実現に向け大きなモチベーションになったようでした。



SAKURA CAREER SEMINAR

今年度より、社会人の方を交えたキャリア教育プログラムとして、「SAKURA CAREER SEMINAR」を開始しました。6月24日(土)には、本校卒業生の協力のもと1回目の社会人講演会が実施され、多くの生徒が参加しました。「その仕事を目指したきっかけ」や「現在の仕事内容」はもちろん、「本校での学びがどう生きたか」「高校生として自身の将来をどう考えてほしいか」というようなお話も織り交ぜていただき、参加した生徒たちはとても身近な話として捉えることができた様子でした。





チアリーディング部

Club Activity Report

部活動報告

1. チアリーディング部

USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会 2023 EAST
高校編成Show Cheerleading部門Novice 第1位

2. 陸上競技部

南関東高等学校陸上競技大会 出場
男子5000m競歩 第3位 木下 富美之
全国高等学校総合体育大会 出場
男子5000m競歩 第7位 木下 富美之

3. 水泳部

関東高等学校水泳競技大会 出場
男子200m平泳ぎ 平本 大輝

4. ゴルフ部

関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 全国大会予選 出場
男子団体戦
女子団体戦
個人 西澤 香那 第6位
全国高等学校ゴルフ選手権大会 出場
個人 西澤 香那

5. ライフル射撃部

関東高等学校ライフル射撃競技会 兼
第49回関東高等学校ライフル射撃選手権大会 出場
永田 寛人
第61回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 出場
永田 寛人



ゴルフ部 男子

Sakuragaoka News

櫻丘ニュース

SAKURA Café

今年度も、SAKURA Caféを定期的 to開催します。SAKURA Caféでは、ネイティブの先生と自由な会話や英語でのゲームなどを自由を楽しむことができます。今年度は、例年以上に多くの生徒たちが集まり、アクティビティを通じて英会話を楽しむ様子が見られました。今後も、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



ネットリテラシー講座

4月に1年生対象、6月に2年生対象のネットリテラシー講座を実施しました。講座では、「確信が持てないものは投稿しない」「ネットの情報を鵜呑みにしない」「ソーシャルメディアの情報は漏れる」「どう伝えるかよりもどう伝わるか」というような内容について詳しくお話をいただきました。生徒たちは真剣に耳を傾け、今後のインターネットやスマートフォンの使い方についてしっかりと考えている様子でした。「危ないから使わない」というのではなく、「正しい使い方を身につけ、ICT機器を活用する」ことができるようになってもらいたと思います。



生徒総会

【5月】体育館にて生徒総会が行われました。5月の生徒総会では、各委員会の代表生徒が全校生徒に対して、予算案・委員会活動方針などの様々な議題の確認を行いました。今年度は久しぶりに全校生徒が体育館に集まり無事に行うことができました。
【9月】ZOOMを利用し、新しい生徒会会長と副会長候補の立会演説会が行われました。立候補者は全校生徒に対し、自身の意気込みについて堂々と演説を行ってくれました。演説終了後、生徒たちはipadを用いて投票を行い、見事全員が信任されました。学校生活が更に充実するよう、活躍に期待しています。



生徒総会 5月

生徒総会 9月

特別進学 (S) クラス 勉強合宿

7月22日(土)～25日(火)の間、3泊4日で特別合宿が行われました。開校式では、大木校長先生や特進担当の先生方からの話を聞き、今回の目的を改めて確認し、これから始まる勉強合宿への意気込みを高めている様子が見られました。各授業は普段よりも1コマの時間が長かったですが、生徒たちは集中して学習に取り組んでいました。最終日の達成感に満ちた表情は大変印象的で、来年の受験本番に向けて、大きな意味を持つ合宿になったようです。



夏期講習・受験対策講座

【7月】夏期講習(1年生～3年生)
7月の夏期講習は学年ごとに内容が異なります。3年生は、市進予備校から講師の方を招いての特別講習、1・2年生は本校教員による夏期講習が行われました。国・数・英の各科目が基礎コースと応用コースを開講し、生徒たちはレベルに合わせたコースを受講していました。
【8月】受験対策講座(3年生)
夏休みも後半ですが、学校には多くの3年生が登校し、講座を受講しました。9月28日(木)の基礎学力到達度テストに向け、最後の仕上げとなる講習というだけあって、どの生徒も真剣な眼差しで緊張感をもって取り組んでいる様子が見られました。また、一般選抜での受験を考えている生徒向けの講習も同時に行われており、こちらも積極的に取り組んでいました。



夏期講習

基礎学力到達度テスト (3年生)

9月28日(木)、3年生を対象に日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テストが実施されました。今回は、3年生にとって最後の基礎学力到達度テストで、日本大学への進学に関わる大切なものです。生徒たちはこれまでの学習成果を最大限発揮し、真剣にテストに臨んでいました。3年生の進学状況は、次回の櫻丘広報215号でお知らせする予定です。

Schedule Calendar

今後の行事予定

2023

12月

- 1日(金) 【3年生】受験対策講座(前期、18日(月)まで)
5日(火) 【1・2年生】第4回定期考査(8日(金)まで)
9日(土) 家庭学習日
11日(月) 家庭学習日
12日(火) 答案返却日
13日(水) 家庭学習日
14日(木) LHR
【1・2年生】GPS-Academic
15日(金) 【1・2年生】面談日(18日(月)まで)
19日(火) 家庭学習日
20日(水) 終業式
21日(木) 冬期特別講習(25日(月)まで)



2024

1月

- 9日(火) 始業式
10日(水) 【3年生】受験対策講座(後期、27日(土)まで)
13日(土) 大学入学共通テスト(14日(日)まで)
4限生徒会行事(全校清掃)
ニュージーランド長期留学出発
15日(月) 【3年生】大学入学共通テスト自己採点
19日(金) 【1・2年全員、3年希望者】午後英検
22日(月) 本校推薦入試(家庭学習日)
27日(土) 【2年生(Sクラス)】4限進研模試リスニングテスト

2月

- 2日(金) 【1年生】進研記述模試
【2年生(Gクラス)】日大チャレンジ模試
【2年生(Sクラス)】進研共通テスト模試
3日(土) 【2年生(Sクラス)】
4限進研模試地歴公民・理科テスト
9日(金) 短縮授業
10日(土) 本校一般入試[A日程](家庭学習日)
12日(月) 本校一般入試[B日程]
17日(土) 【1・2年生】GPS-Academic振り返り

3月

- 2日(土) 卒業式
4日(月) 学年末考査(7日(木)まで)
8日(金) 家庭学習日(11日(月)まで)
12日(火) 答案返却日
13日(水) 家庭学習日(16日(土)まで)
18日(月) 【1・2年生】LHR
19日(火) 家庭学習日
21日(木) 修了式
22日(金) 春期講習(26日(火)まで)
【1年生(Sクラス)】校内勉強合宿(25日(月)まで)
27日(火) 春期特別講習(31日(日)まで)

予定は変更となる場合がございます。